

キビシロタンポポを探せ！

キビシロタンポポ [キク科]

Taraxacum hideoi Nakai ex H.Koidz.

本州北陸地方以西、四国、九州北部に分布する。県内では、県東部と西部の人里や山里の道路の路肩や法面、農地の周辺などの草地に生える。花は白色～薄黄色。開花期4～5月。過疎化の進行に伴い、田畑の畦や路傍の草地などが管理放棄されることにより、生育環境が変化し、減少することが危惧される。高知県レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類（VU）に指定されている。



2019/4/13 大豊町

★キビシロタンポポらしきタンポポを見つけたら・・・

- ① 花を横から見て、総苞の反り返り方・総苞の形・総苞片の縁の色を確認する
- ② タネ（瘦果）があれば、タネの色を確認する
- ③ タンポポ調査の調査用紙に必要事項を書く
- ④ サンプル（花とタネ）を採り、ティッシュに包む
- ⑤ 調査用紙とサンプルを植物園に届ける



総苞外片▶

総苞外片は内片にくっつき、内片の1/2以上の長さ。総苞片の縁が赤みを帯びることが多い



瘦果が黒褐色の個体もある。
※その他の種類のタンポポに黒い瘦果をもつものはない



瘦果が褐色の個体もあるので注意

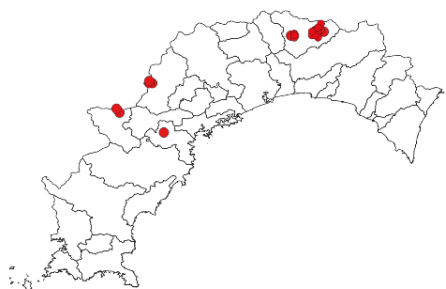


図 キビシロタンポポの分布

タンポポ調査・2020高知県調査の終了後、中土佐町（旧大野見村）で発見されたほか、今回のタンポポ調査で仁淀川町でも確認されました。キビシロタンポポは、愛媛県中南部に多く分布しており、愛媛県県境に近い市町村での生育の確認が期待されます！ちょっと雰囲気の違い白花のタンポポを見かけたら、観察してみてください。

タンポポ調査・2025高知県のすべて
が分かる!? 特設サイトはこちらから ▶

